

## 成田太鼓祭

見る人の心を打つ  
勇壮な響き

関東近辺の各都県を代表する和太鼓や伝統音楽、伝統舞踊が一堂に会する日本屈指の太鼓の祭典「成田太鼓祭」が4月12日・13日、成田山新勝寺と表参道で行われました。20回を数える今年、27団体404人もの出演者が一斉に太鼓を打ち鳴らす千願華太鼓が祭りの始まりの合図。かがり火の幻想的な雰囲気のある千年夜舞台、表参道一帯を一つのステージとして行われる太鼓パレードと、息つく暇もないほど。心の奥底まで響く太鼓の勇壮な音が、見物客を魅了しました。



鬼気迫る表情は荒行者のよう



次々にやって来る個性溢れるパレードに目が離せない



始まりの合図は千願華太鼓



ナイスリターン!最高齢ペアの合計年齢はなんと134歳です

## 100歳・110歳 ミックステニス大会

ミドルエイジが  
はつらつプレー

「100歳・110歳 ミックステニス大会」(市テニス協会ほか主催)が4月20日、中台テニスコートで開催されました。同大会は、100歳ミックスの部・110歳ミックスの部の2部制で優勝を争うもので、男女ペアの合計年齢がそれぞれ100歳・110歳以上であることが参加資格。選手たちは、年齢を感じさせないはつらつとしたプレーで、さわやかな汗を流しました。

## 春を彩る伝統芸能

大栄地区の春の風物詩として親しまれる「伊能のおおそび」が4月20日、大須賀大神で開催されました。この日のために設置されたステージでは、そろいの着物に身を包んだ女性たちが華やかな踊りを披露し、その後、地元保存会による伊能歌舞伎も上演。それぞれの演目ごとに観衆からは惜しみない拍手が送られ、多くの人が訪れた境内は春のにぎわいに包まれていました。



踊りながら地区内を練り歩く



市指定無形民俗文化財の伊能歌舞伎



不審者だ!登校班のみんな、どうする?



安全を守る「きょうはいかのおすし」

## 合言葉は「きょうはいかのおすし」

児童の犯罪被害を防ごうと遠山小学校で4月25日、防犯教室が開かれました。新学期を迎え、千葉県警察が県内各校で実施しているもので、同校には成田警察署から警察官2人が講師として来校。登下校時に不審者が現れたとの設定の下、児童たちは、子ども110番の家への避難や約束事の頭文字をまとめた「きょうはいかのおすし」などについて学習しました。講師からの「どんなことを学びましたか?」との問い掛けに、永井紗理香さん(2年生)は「変な人が近づいてきたら大声を出して逃げます」と元気良く答えていました。

## 獅子の舞いで豊作を祈る

江戸時代末期から続いている「水掛の花まつり」。昨年の田植え終了後の「花納め」で納められた獅子は、4月1日の「獅子起こし」で起こされ、4月13日の花まつり当日を迎えました。共同利用施設裏手の羽黒神社を皮切りに、水神社や集落内を巡回しながら獅子舞を披露し、五穀豊穡を祈願しました。



獅子舞に合わせて踊りだす子どもも